

Ravages of War Yoshino Oishi



ベトナム

声なき人びとの、終わりなき戦争。

戦禍の記憶

大石芳野写真展

2019年3月23日(土)ー5月12日(日)

開館時間:10時ー18時(木・金は20時まで) *入館は閉館の30分前まで

休館日:毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日休館)

観覧料:一般1000(800)円/学生800(640)円/中高生・65歳以上600(480)円 *()内は20名以上の団体料金

*第3水曜日は65歳以上無料 *小学生以下、都内在住・在学の中学生および障害をお持ちの方とその介護者は無料

主催:クレヴィス 共催:東京都写真美術館 後援:公益社団法人日本写真協会 公益社団法人日本写真家協会

協賛:キヤノンマーケティングジャパン株式会社 協力:東京工芸大学 写大ギャラリー

東京都写真美術館 地下1階展示室

TOP MUSEUM



1



2



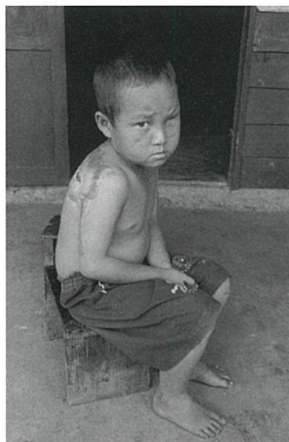
3



4



5

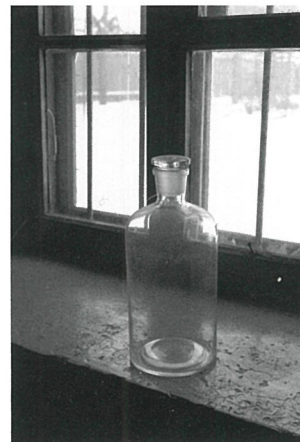


6

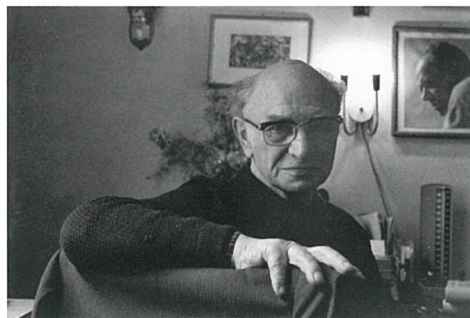
Ravages of War

Yoshino Oishi

- 1,2 沖縄
- 3 コンボ
- 4 スーダン
- 5 カンボジア
- 6 ラオス
- 7 731部隊
- 8 ホロコースト
- 9 コンボ
- 10 広島



7



8



9



10

戦禍の記憶 大石芳野写真展

20世紀は「戦争の世紀」といわれます。二度にわたる世界大戦で人類の危機とでもいふべき大量の殺戮と破壊をもたらした後も安寧を迎えることはなく、米国、旧ソ連を軸とする東西の冷戦に起因する朝鮮戦争やベトナム戦争、ソ連のアフガン侵攻などが勃発しました。21世紀を迎えてもなお、世界のどこかでひとときも収まることなく戦争が続いています。

戦争の悲惨な傷痕に今なお苦しむ声なき民に向きあい、平和の尊さを問いつづける大石芳野。広島や長崎、沖縄、朝鮮半島に大きな傷を残している太平洋戦争の後遺症をはじめ、メコンの嘆きと言われるベトナム、カンボジア、ラオスの惨禍、そして民族や、宗教・宗派の対立で苦しむアフガニスタン、コンボ、スーダン、ホロコースト……。本展では約40年にわたり、戦争の犠牲となった人々取材し、いつまでも記憶される戦禍の傷にレンズを向けてきた作品約150点を展覧します。

関連イベント

1階ホールにて講演会、対談を開催します。参加無料 定員190名
*ただし本展の観覧券が必要です。
*当日10時より1階受付にて入場整理券を配布します。
*講演会のタイトル、内容は変更となる場合があります。

1 大石芳野講演会

日時——2019年3月23日(土) 14時-15時30分(開場13時30分)
講師——大石芳野(写真家)

2 [対談]大石芳野×池内了(天文学者)

日時——2019年4月20日(土) 14時-15時30分(開場13時30分)
講師——大石芳野(写真家) 池内了(天文学者)

大石芳野のギャラリートーク

- ① 日時-2019年3月30日(土) 13時30分~
- ② 日時-2019年4月13日(土) 13時30分~

【関連書籍】本展の開催にあわせて写真集を刊行します